

# I 赤坂子ども中高生プラザの概要

## 1 基本理念及び運営方針

赤坂子ども中高生プラザ（以下、「赤坂プラザ」という。）は、港区立子ども中高生プラザ条例（以下、「条例」という。）に基づき、児童の健全育成を旨とし、心身の健全な発達を目指して、下記の基本理念と運営方針の下に運営しました。

### <基本理念>

赤坂プラザは、権利行使の主体として子ども親に立ち、条例に基づき、下記により、子どもの権利を擁護し、健やかな成長を願って事業の運営を行います。

1. のびのび楽しく過ごす心を持ち、ありのままの自分に力があることを自覚し、自主的に活動を進められるように支援します。
2. じっくりと考える力が育つことを働きかけ、仲間とともに協力し、自治を作っていく力を育てます。
3. 一人ひとりの違いを認め合いながら、人間として温かな心を育むよう支援します。
4. 生き生きと健康な身体を作ることを働きかけ、児童の体力増進のための活動を進めます。
5. 中高生が心地よく過ごせる居場所となるよう環境を整え支援するとともに、自主的に文化、芸術、スポーツ活動の向上を図れるよう、活動を進めます。
6. 地域の乳幼児や小学生と子育て中の保護者が、主体的に、生き生きと安心して過ごせる場を作ります。
7. 学童クラブの子どもたちが生活の場として安心して過ごし、個々の力を伸ばせるよう働きかけます。
8. 地域との連携を深め、協力、交流を行うための組織を作り、活動を進めていきます。
9. 児童に関わる情報収集に努め、発信、提供の場になれるようにします。

### <全体の運営方針>

1. 来館者一人ひとりのベスト・インタレスト（最善の利益）を出発点とした運営を行います。
2. 地域をステージとした多様な活動に参加できるように、拠点施設としての運営を行います。
3. 児童が友情を育み、仲間と集える新しい居場所を共に作っていく運営を行います。
4. 障害のあるなしに関わらず、だれもが自分らしい選択で活動できるノーマライゼーションの考えに基づく運営を行います。
5. 子育て中の家庭を支援し、親も成長できる共生の視点から運営を行います。
6. 高齢者施設との交流を深め、世代間交流を促進する運営を行います。
7. ボランティアの育成を進め、社会参加への機会となる運営を行います。
8. 利用者の個人情報保護の適正化に取り組むとともに、職員の倫理綱領に基づく行動規範を遵守し、サービスの質の充実を図ります。
9. 地域に信頼され、親しまれる施設、より一層賑わいのある施設を目指します。

### ＜具体的な方針＞

条例に基づき、児童が心身ともに健やかに成長し、豊かな情操を育むため、大型児童センターとしての役割を果たしつつ、地域とともに育つ視点から、開かれた施設づくりを進めます。

このため、乳幼児から18歳未満の児童の心のよりどころとなり、かつ居場所として、児童の体力増進、文化・芸術活動の拠点になるよう、企画運営を行っていきます。

#### 1. 地域とともに育ち、信頼される施設を目指し、開かれた施設づくりを推進します。

- (1) 児童が安全に、安心して過ごせる施設運営を行います。
- (2) 児童の遊びや体力増進、文化・芸術の拠点となるような企画と運営を目指します。
- (3) 児童を優先しつつ、地域のニーズに柔軟に对应えられるよう、開かれた施設運営を行います。
- (4) 児童に関する関係機関、就中近隣の機関と連携し、有機的なネットワークを構築します。
- (5) 学童クラブの制度改正及び入会定員増に適切に対応し、更に充実した運営を目指します。
- (6) 港区の「子どもの未来応援施策」実現に向け、中高生の居場所機能を充実させるとともに、小学生の利用時間拡大にも取り組みます。

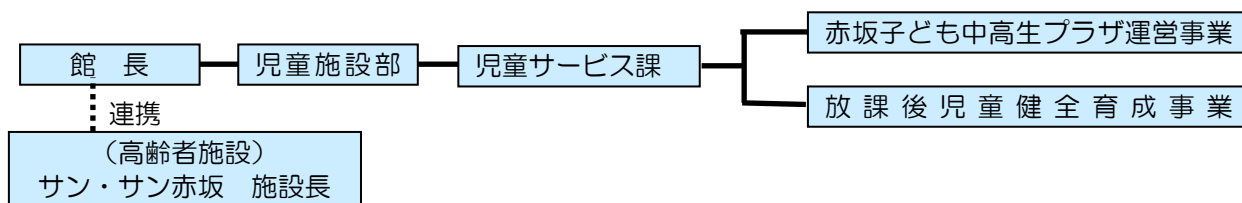
#### 2. いろいろなニーズを持った児童が参加しやすいように、常に利用者の状況を把握し、自主的な活動を支援し、ともに行動しながら、交流する喜びや満足を感じられるような活動内容を提供します。

- (1) 職員の専門性を高め、質の高いサービスを提供します。
- (2) 中高生に対しては、地域等の協力も得ながら、本物の文化、芸術、スポーツなどの素晴らしさを伝えられるような活動を展開していきます。
- (3) 児童が自主的に参加できる場所として、児童の欲求を敏感に捉えながら、自主的な活動を進められるよう、配慮をしていきます。
- (4) 障害児の夏季休業日等の受け入れに、適切に対応し支援します。

#### 3. 高齢者施設との交流を大切にします。

- (1) 併設の高齢者施設を利用される方々と、日常的に自然な交流ができるよう工夫し、世代間交流ができるような活動を企画します。
- (2) 高齢者施設へのボランティアや見学も行うとともに、併設施設に限らず、近隣の元気な高齢者の利用施設へも出向き、児童がより高齢者福祉に興味、関心を持つことができるような機会を設けます。

## 2 組織運営体制



### 3 利用日及び時間

#### (1) 赤坂子ども中高生プラザ

条例に基づき、利用に関し、次の通り運営を行いました。

【開館時間】 午前9時30分から午後8時

(小学生の利用は、ひとりで帰れる時間を考慮し、「午後6時まで」を推奨)

※ 障害児夏季休業日等支援事業による受入れ拡大 午前8時30分から

【開館曜日】 月曜日から日曜日

(ただし、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始の12月29日から31日及び1月2、3日は休館)

年末施設開放 12月29、30日の午前9時30分から午後8時

#### (2) 学童クラブ

港区学童クラブ運営要綱に基づき、利用日及び時間について、次のとおり行いました。

- ① 月曜日から金曜日 下校時から午後7時  
土曜日 午前8時から午後5時
- ② 学校休業期間中 午前8時から午後7時  
(但し、土曜日は午後5時、日曜日は休室)
- ③ 定員 120名

## Ⅱ 赤坂子ども中高生プラザ運営事業

### 1 児童館事業

#### (1) 小学生対象の事業

##### 定期活動

##### 【メディアルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年 (26種類) (12回)	ペーパークラフト	パソコンを使った工作 (季節に関連するもの、車や人形、バック、箱等)	約200名
通年	ローマ字検定	決められた時間の中でローマ字入力を習得し、検定を受ける	約180名

##### 【クラフトルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年(15回)	期間工作	小学生向けのおすすめ工作を月に1～2回、作り方の掲示や材料を用意し、提供	約1,100人

## 特別活動

### 【メディアルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年(1回)	ローマ字検定王	通常のローマ字検定とは異なる内容で	12人
年1回	ゲーム王	子どもに人気のTVゲームを使っの大会	92人
通年(3回)	リクエストシアター (アリーナシアター)	映画等をステージの大画面で上映する	160人
通年(18回)	月間企画	制作活動 季節に関する製作活動 インターネット講習会	238人
年1回	絵画コンテスト	ペイント機能を使った絵画のコンテスト	14人

### 【クラフトルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
21回	月間企画	テーマ・材料を決めての工作など	883人
4回	陶芸教室	講師による陶芸活動 (お茶碗作り、ペン立て作り)	83人
2回	高学年企画	高学年向けの材料、道具を使ったアクセサリー作り、工作等	48人

### 【スタジオI】

実施回数	活動	内容	参加人数
1回	伝統文化	講師による茶道体験	10人
20回	音楽活動	職員によるハンドベルの演奏体験、館内発表会への出演 (Ring Dong ず)	172人
6回	ことさん	講師による箏・三味線の演奏体験、館内発表会への出演	111人
2回	ダンスレッスン	講師によるダンスの体験レッスン	57人

※ボランティア講師による箏三味線教室、茶道体験も開催(別掲)

【アリーナ】

実施回数	活動	内容	参加人数
17回	月間企画	集団遊び、スポーツ企画 リクエスト企画 おばけやしき	531人
25回	ドッジボール	港区児童館ドッジボール選手権大会に 向けた練習	529人
8回	講師企画	ニュー・スポーツなどのスポーツ指導	177人

※アリーナシアターはメディア企画として報告。

※港区児童館ドッジボール選手権大会に参加

【その他】

- ・港区児童館交流会、東京都児童館交歓フェアに「レッツ！バトン！！クラブ」参加
- ・港区小学生バスケットボール大会に「バスケやろう」参加

(2) 中高生対象の事業

**定期活動**

【なんで～も委員会】

実施回数	活動	内容	参加人数
第3日曜日 (12回)	委員会 (年間登録)	プラザ（館）の運営に関する話し合い、 活動内容の検討など	110人
	プロジェクト (企画チーム活動)	企画検討・実施準備、活動実施	

※納涼祭、文化祭典にて「なんで～も委員会の店」出店

【中高生居場所事業】

実施回数	活動	内容	参加人数
通年 (6月から)	まなび舎 in なんで～も	ラウンジ内に専用の勉強コーナーを設置 し、自主学習の場の確保 中高生の交流の場の確保	822人
第2火曜日 (12回)	NAN-CAFE	異学校、異学年の児童となんで～もの職 員やOB 大学生などが、菓子類や飲料を 飲食しながら語り合い交流する「しゃべ り場」	131人
第3火曜日 (12回)	NAN-COOK	異学校、異学年の児童となんで～もの職 員やOB 大学生などが、軽食を調理し食 しながら語り合い交流する「しゃべり場」	153人
11回	NAN-SPO	異学校、異学年の児童となんで～もの職 員やOB 大学生などとスポーツで交流す る	103人

第4日曜日 (12回)	TBP	異学校、異学年の児童となんで～もの職員やOB 大学生などが語り合い、該当月に、誕生日を迎える中高生をお祝いし、交流する	127人
----------------	-----	---	------

### 特別活動

#### 【中高生居場所づくり事業】

実施回数	活動	内容	参加人数
1回	館内宿泊「まなび舎 in なんで～も」	・長期休業期間中の宿泊を伴った自主学習支援企画 ・大学生ボランティア等による学習支援	15人
6回	まなびちゃん ※	・大学生ボランティア等による学習、スポーツ交流、進路相談会	69人

※12月「まなび舎 in なんで～も冬期講習」、1月「第2回冬期講習」の活動名を2月より「まなびちゃん」に変更

#### 【メディアルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
1回	中高生 メディアシアター	ホラー映画の上映会	19人

#### 【クラフトルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
6月 7月	納涼祭小物づくり	納涼祭出品「スイーツデコ」「消しゴムはんこ」の作成	8人
9月 10月	文化祭作品づくり	文化祭作品展示「モザイクアート」の作成	75人
3月	缶バッチづくり	オリジナル缶バッチの作成	26人

#### 【スタジオI】

実施回数	活動	内容	参加人数
2回	ダンスレッスン	講師によるダンス指導	11人

### 【スタジオⅡ】

実施回数	活動	内容	参加人数
12回	予約会議	スタジオ利用に関する次月の予約、連絡調整、バンド交流	108人
2回	バンド総会	バンド同士の交流、より良く利用するための会議	66人
2回	バンドレッスン	講師による技術的なバンド指導	28人
1回	Summer Live 2016	中高生によるバンド、ダンスの発表	76人

※港区中高生プラザ5館合同ライブ、SWING 赤坂にも出演（別掲）

### 【アリーナ】

※プラザカップ（港区中高生フットサル交流大会）、  
港区プラザ中高生バスケットボール交流大会に参加（連携行事にて報告）

## （3）全年齢対象の事業

### 特別活動

### 【ラウンジ】

実施回数	活動	内容	参加人数
12回	月間企画	歌、紙芝居、読み聞かせ等 ボードゲーム大会、季節のお楽しみ会	332人

※スクールサポーター（赤坂警察署）による交通安全教室、消防署員による火災予防講話も開催（別掲）

### 【メディア】

実施回数	活動	内容	参加人数
33回	メディアシアター	大型テレビを使っでの映画上映。	1211人

### 【クラフトルーム】

実施回数	活動	内容	参加人数
5回	ワークショップ	テーマ・材料を決めての工作等 （スライム作り等）	418人
5回	料理活動 クラCOOKタイム	ランチ作り・おやつ作りなど ※乳幼児を除く。	99人

※「クラCOOK」の「クラ」とは、「クラフト」の意味。

### 【スタジオI】

実施回数	活動	内容	参加人数
18回	あそべるスタジオ ～あそスタ～	週替わりでダーツ、ダンス、ボードゲームなど各種遊びを用意	576人

### 【アリーナ】

実施回数	活動	内容	参加人数
15回	アリーナに集合	子どもリクエストによる集団遊びやスポーツ ※乳幼児を除く。	351人

### 【その他】

実施回数	活動	内容	参加人数
6月 10月 12月 3月	忘れ物展示会	館内で届いた落とし物・忘れ物を展示 (期間：各1週間)	約3,900人

## 2 子育て広場事業

### (1)「乳幼児と保護者」対象の事業

#### 定期活動

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
通年(44回)	りすさんグループ	手遊び、音楽遊び、 工作、読み聞かせ ふれあい遊びなど	1,863人	H27.4～ H28.4.1 生まれ の乳幼児・保護者
10月から (21回)	ひよこさんグループ	手遊び、音楽遊び、 工作、読み聞かせ ふれあい遊びなど	830人	H28.4～生まれ の乳幼児・保護者
通年(47回)	うさぎさんグループ	手遊び、音楽遊び、 工作、読み聞かせ ふれあい遊びなど	1,554人	H26.4～ H27.4.1 生まれ の乳幼児・保護者
通年(45回)	こぐまさんグループ	手遊び、音楽遊び、 工作、読み聞かせ ふれあい遊びなど	663人	H22.4～ H26.4.1 生まれ の乳幼児・保護者
通年(36回)	わいわいクラブ	アスレチック、リ ズム体操、かけっ こ、集団遊び、ふ れあい遊びなど	1,150人	幼児(2歳以上)・ 保護者
通年不定期 (8回)	運動あそび	アスレチック、リ ズム体操、かけっ こ、バルーン、ふ れあい遊びなど	276人	りす・うさぎグル ープ・保護者



通年(43回)	FCなんで～も	幼稚園児対象としたサッカーを中心とした運動遊び	917人	幼稚園児・保護者
通年(21回)	なんで～もであそぼ 1, 2, 3	楽器遊び、歌遊び、リトミックなど音楽を主題とした活動	703人	乳幼児と その家族
通年(12回)	アトリエなんで～も	幼稚園児対象で、講師を招いた造形活動	207人	幼稚園児
通年(12回)	ファミリータイム	季節にちなんだ食育やクラフト活動	191人	乳幼児と その家族
通年(23回)	たんぽぽクラブ	民生・児童委員による子育て支援活動	549人	乳幼児・保護者
通年(月～金) (239回)	お昼の体操	幼児向けのダンスを中心とした活動	3,487人	乳幼児・保護者
通年(13回)	乳幼児期間工作	おすすめの工作を月に1～2回、作り方の掲示や材料を用意し、提供	約1,100人	乳幼児から
夏季(17回)	キラキラプール (水遊び)	「ふれあい広場」での水遊び	226人	乳幼児・保護者

### 特別活動

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
通年(5回)	みなと保健所との 連携事業	①離乳食相談会 ②歯科衛生士 ③離乳食相談会 ④環境講話 ⑤食事相談会	① 20人 ② 44人 ③ 16人 ④ 33人 ⑤ 7人	乳幼児・保護者
通年	講師による企画	①パパベビマ ②人育ち唄 ③マタニティバスルアート ④ベビーマッサージ ⑤骨盤リセットヨガ ⑥リトミック(全6回) ⑦英語で遊ぼう	①7人 ②12人 ③3人 ④26人 ⑤16人 ⑥74人 ⑦25人	乳幼児・保護者
通年 (6回)	赤坂図書館との 連携事業	各グループ活動内にて「おはなし会」	187人	乳幼児・保護者

## (2) 保護者対象の事業

### 定期活動

実施回数	活動	内容	参加人数
通年(18回)	保護者対象 製作企画	陶芸教室 PC教室 年賀状づくり など	172人

通年(10回)	保護者対象 スポーツタイム	リフレッシュ目的のバドミントン、バレーなどの実施	43人
通年(13回)	なんで～も 「お聞きします」 (日本ガーディアン・エンジェルスとの連携事業)	日本ガーディアン・エンジェルスから派遣されたボランティア相談員「スマイルさん」(心理士等)による相談活動	548人

### 特別活動

実施回数	活動	内容	参加人数
1回	早期からの 「しつけ」の後押し事業 (東京都事業)	出前講演会 「自分を好きな子ども」を育てよう	5人
通年(6回)	ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム	子育て中の親のグループワーク (親支援プログラム)	43人
通年(2回)	企業連携事業	①ヤクルトレディさんによる「腸内環境のお話」 (ロハスキッズ内にて) ②スターバックスコーヒーによる「バリスタ体験」 (ファミリータイム10月内容)	①109人 ②7人
1回	赤坂消防署との 連携事業	乳児の救命救急講習会	61人
1回	早期からの 「しつけ」の後押し事業 (東京都事業)	こころの東京塾 テーマ「ねだる子どもにがまんさせよう」(グループワーク)	14人
1回	サン・サン赤坂との 連携事業	サン・サン赤坂職員による「認知症サポーター講座」	6人

### (3) 妊婦対象事業・父親対象事業

#### 特別活動

実施回数	活動	内容	参加人数
通年(1回)	プレママ応援企画	パステルアート体験 <sup>㊦</sup>	3人
通年(3回)	イクメン応援企画	①パパのベビーマッサージ <sup>㊦</sup> ②パパと一緒に！春のアウトドアスポーツ ③イクメン応援企画！陶芸教室 箸置きづくり	①7人 ②26人 ③6人

## 3 年間行事報告

### (1) 行事計画に基づく行事

実施月	活動	内容	参加人数	対象
4月	新入生歓迎会	1年生ゲームタイム、クイズなど入学・進級のお祝いと交流	131人	小学生～中高生
	子どもの日行事	足湯やミニゲームなどを行い、こどもの日を祝う行事	197人	全児童・保護者
5月	春のアウトドア・スポーツ	「川口グリーンセンター」への遠足 父親育児応援企画として開催。	26人	全児童・保護者
6月	親子交流行事 (ダンボール窯でピザづくり)	家族間交流。ダンボール窯で「ピザ」を作る	27人	全児童・保護者
	ロハスキッズ	親子運動会とリサイクル	109人	乳幼児・保護者
7月	納涼祭 (サン・サン&なんでもまつり)	食べ物模擬店、ゲーム模擬店、ステージ発表など	1,382人	全児童・保護者・地域住民
8月	高学年キャンプ	「大房岬少年自然の家」でのキャンプ (1泊2日)	19人	小学校4～6年生
	低学年バスハイク	新江ノ島水族館へバスで遠足	90人	小学校1～3年生
	中高生館内宿泊 (まなび舎)	中高生が自分たちで企画し、館内に宿泊	15人	中高生
	プラネタリウム	アリーナでプラネタリウムを楽しむ	219人	全児童・保護者
9月	里山体験	あきる野市西戸倉へのバス遠足(自然体験)	36人	小学生～高校生・保護者
10月	乳幼児バスハイク	東武動物公園へバスで遠足	64人	乳幼児・保護者
	キッズシアター	外部団体による絵と音楽のコラボ演出、リサイクル	141人	乳幼児・保護者・サン・サン赤坂利用者、近隣保育園
11月	文化祭典	(高齢者)デイサービスとの交流イベント。国際交流・ステージ発表、中高生のお店、作品展示など	587人	全児童・保護者・地域住民
12月	年末子ども会 グッバイ☆2016	ゲーム、紅白歌合戦、箏三味線の発表、年越しうどん。	166人	全児童・保護者・

	たんぼぼクラブ会 クリスマス会	民生・児童委員と共催の クリスマス会	89人	乳幼児・保護者
1月	ニューイヤー パーティー	鏡開き、お正月遊び	222人	全児童・保護者
	中高生音楽表現発表会 (Teen's Live AKASAKA)	中高生によるバンド、 ダンスの発表	109人	全児童・保護者・ 一般の方
2月	中高生交流行事 (鍋パーティー)	鍋パーティー、交流会	17人	中高生
	節分もちつき (児童・高齢交流)	節分豆まき、もちつき	281人	全児童・保護者
3月	卒業おめでとう会 (6・3・3会)	卒業生を祝う イベント	129名	全児童・保護者
	キッズランド	年齢別グループの交流 発表会、こぐま卒業式	93人	乳幼児・保護者

## (2) 連携行事

実施月	活動	内容	参加人数	対象
4月・9月	交通安全教室	警察のスクールサポーターによる交通安全ルールなどの講話	28人/25人	全児童・保護者
6月	プラザカップ (港区中高生 フットサル交流大会)	港区の中高生プラザ4館との交流大会	32人	中高生
8月	港区5館合同 LIVE Minato Music Mates	赤坂、港南、高輪、神明、麻布の5プラザ共催で、交流を目的としたLiveを開催	94人	中高生
10月	港区児童館ドッジボール選手権大会	港区の児童館との交流大会	29人	小学生
11月・3月	火災予防講話	消防署員による火災予防の講話	12人/19人	全児童・保護者
11月	赤坂・青山 <sup>ともいく</sup> 共育フェスティバル (檜町公園)	赤坂・青山地区の企業・団体が集まり、様々な活動を提供する。「なんで～もメンコづくり、合唱・ソーラン節・中高生のバンド出演」で参加、協力	27人 (出演児童)	全児童・保護者

	プラザカップ (港区小学生 フットサル交流大会)	港区内の6プラザ合同の 小学生フットサル交流大 会。低学年と高学年に分 けて総当たりの試合を行 う。	25人	NDM5 登録者
12月	港区児童館交流会	港区内の児童館が集ま り、日頃の活動を発表 し交流を深める。「レッ ツ!バトン!!」クラブ が出演	28人	全児童
2月	(東京都主催) 児童館交歓フェア	東京都内の児童館が集 まり、日頃の活動を発表 し交流を深める。「レッ ツ!バトン!!」クラブ が出演	30人	全児童
	港区小学生 バスケットボール 大会	港区クラブチーム対抗 バスケットボール大会	8人 (保護者6人)	小学生
	港区プラザ中高生 バスケットボール 交流大会	港区プラザ合同の バスケットボール交流試合	15人	中高生
3月	交流大会 (港区中高生 フットサル交流大会)	高輪子ども中高生プラザ で交流試合	24人	中高生
	福井県(越前市) 紙すき体験	紙すき文化が継承され ている越前地区で体験学 習(交通費、宿泊費等は福 井の主催者が負担)	3人	中学生

## 4 クラブ・サークル活動

### <クラブ>

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
37回	レッツ!バトン	バトントワリング・チアダンス	939人	小学生~中高生
11回	ちょこっとクッキング	料理活動・お菓子作り	235人	小学生~中高生
33回	ムジカ・ディ・バンピーノ	合唱・合奏	429人	小学生~中高生
36回	SBD	ソーラン節・バレエ・ダンス	473人	小学生~中高生
44回	NDM5	フットサル	468人	小学生
39回	バスケやろう	バスケットボール	830人	小学生~中高生

※レッツ!バトンクラブは「SWING 赤坂」「区民まつり」「なんで~も文化祭」「児童館交流会」「児童館交歓フェア」「クラブカーニバル」に出演。

### <子ども中高生サークル>

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
通年 (12回)	フットサルサークル 「おりん財閥」	フットサルの練習	94人	中高生
通年 (20回)	バドミントン サークル 「スマッシュ」	バドミントンの練習	60人	中高生

### <保護者自主サークル>

実施回数	活動	内容	参加人数	対象
通年 (34回)	美容体操サークル	講師を招いての 「ピラバレッチ体操」	456人	なんで~もを利用している児童の保護者
通年 (16回)	Kinana (フラダンスサークル)	講師を招いての フラダンス練習	109人	なんで~もを利用している児童の保護者
通年 (5回)	なんで~もメイド (工作サークル)	工作活動を楽しむ活動	24人	なんで~もを利用している児童の保護者
通年 (7回)	なんで~も 着付け教室	着物の着付けを学ぶ活動	28人	なんで~もを利用している児童の保護者

## 5 相談活動

主にキッズや学童クラブの保護者、クラブに所属している児童の保護者などから相談を受けた。また、中高生が信頼関係を築いた職員に相談するため、出勤日を確認して来館する様子も見られた。電話でも継続した相談が5件あった。

種別	主な相談内容	相談件数	対象
電話・来館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園における、子どもと友人との関係について</li> <li>・ 小学校における子どもと友人関係について</li> <li>・ 子どもの発達、発育について</li> <li>・ 友人関係、進路の相談</li> <li>・ 館内における乳幼児保護者同士の関係について など</li> </ul>	77件	中高生・保護者

※民生児童委員による「たんぼぼクラブ」の相談件数は含めていない。

## 6 子ども・保護者委員会

「本音で語ろう会」と題し、気軽に意見を言える場となるよう、かき氷やお菓子を食べながら、カフェ形式で行った。小学生はラウンジに置いてあるマンガやアリーナ、メディアの企画に関する意見も多く（ハンカチ落としをやりたい、メディアシアターをもっとやってほしい等）、本購入や企画の際の参考にした。中高生の参加は今年度少なかったが、なんで～も委員会内でも中高生の要望などは聞き取れていると考えている。乳幼児保護者からはお褒めの言葉が多いが、要望としては自動販売機（飲料だけではなく、食品のものを置いてほしいなど）に関するものが数件あった。また、行事や企画についての希望（英語教室をしてほしいなど）もあった。「気軽に意見を言えて、職員と話が出来る場」として、毎回好評である。

実施月	活動	内容	参加人数	対象
9月 3月	本音で語ろう会	楽しかったことや、やってほしいこと、館への要望などを自由に話し合う。	116人	乳幼児～保護者

## 7 国際交流活動

### 特別活動

今年度は「アメリカ」について学んだ。

実施月	活動	内容	参加人数	対象
7月	ゲーム店出店	納涼祭に出店。壁に描いたハンバーガーの具の下にあるかごにボールが入ったら具をもらえる。できたハンバーガーの完成度合いでもらえる景品が決まる。	1,382人	全児童・保護者・地域住民・関係者など
11月	アメリカ料理の店	文化祭に出店。お店スタッフを募集して、ホットドッグを調理・販売	587人	全児童・保護者・地域住民・関係者など

2月	アメリカ料理体験	ポップコーンを2種作る。(塩味とキャラメル味)	20人	小学生～中高生
----	----------	-------------------------	-----	---------

## 8 高齢者施設（サン・サン赤坂）との交流活動

### 特別活動

月	活動	内容	参加人数	対象
5月	サン・サン赤坂ツアー	「サン・サン赤坂」利用者との交流及び高齢施設での活動についての紹介	22人	乳幼児～保護者
6月	しゃぼん玉あそび	ふれあい広場において「シャボン玉」遊び交流	27人	乳幼児～保護者
7月	七夕飾りつけ	七夕飾り付けを高齢者と一緒に行う。	4人	乳幼児～保護者
	七夕会	・デイサービスを訪問し、高齢者と一緒に七夕飾り作りを行う。 ・竹笹への飾り付けを高齢者と一緒に行う	13人	乳幼児～保護者
8月	スイカ割り	スイカ割りイベントを高齢者と一緒に楽しむ	108人	乳幼児～保護者
	盆踊り交流	デイサービス行事への参加	41人	乳幼児～保護者
	プラネタリウム交流	アリーナにおいて行うプラネタリウムを一緒に楽しむ	219人	乳幼児～保護者 地域住民
	打ち水交流	毎週月曜日の午後の時間、乳幼児プールで使用する水を利用して打ち水を行う。	55人	乳幼児～保護者
9月	敬老会	サン・サン赤坂の各フロアを訪問	8人	乳幼児～保護者
10月	ハロウィン交流	ハロウィンの仮装をして、サン・サン赤坂各フロアを訪問	12人	乳幼児～保護者
	デイ運動会 <sup>㊦</sup>	高齢者の運動会に子どもたちが一緒に競技をして楽しむ	9人	乳幼児～保護者
	文化祭交流	・乳幼児グループ、小学生音楽クラブでサン・サン赤坂の各フロアを訪問 ・文化祭においてデイサービス利用者による合唱の発表 ・赤坂いきいきプラザ利用者の作品を展示	38人	乳幼児～保護者 地域住民
11月	おやつ作り交流	アリーナにおいておやつを食べたり、ゲームをしたりして楽しむ	36人	乳幼児～保護者
	文化祭スポーツ交流 <sup>㊦</sup>	文化祭交流の一環として、高齢者と一緒にボール回しをして楽しむ	59人	乳幼児～保護者



12月	クリスマス会	アリーナにおいてクリスマス会を行う	58人	乳幼児～保護者 地域住民
1月	新年あいさつツアー	サン・サン赤坂の各フロアを訪問し、新年のあいさつ交流を行う	97人	乳幼児～保護者
2月	節分・もちつき	季節の伝統行事「節分」及び「寒餅」を高齢者と一緒に行う。	281人	乳幼児～保護者 地域住民
3月	PLAZANIA 「クレープ屋さん」 ⑧	PLAZANIA 内で「クレープ屋さん」をアリーナにて行う	120人	乳幼児～保護者

## 9 地域交流活動、歴史・文化にふれる活動

### 【日常活動】

児童の健全な育成を図るため、小学校、中学校、保育園、幼稚園、民生児童委員、青少年委員、その他福祉施設などの地域施設や、関係者との連携に努めた。

具体的には地域懇談会の開催や、行事等での相互協力を通してプラザの専門性の地域への還元、児童の状況などの情報交換を実施した。

これらの活動を通して地域に開かれた施設運営を行うとともに、地域との協力、交流が進むよう、日常的に地域との連携を深める活動を行った。

### 定期活動

実施予定回数	活動	内容	参加人数	対象
5月	咸臨丸(かんりんまる)探検隊	赤坂図書館を訪問し、図書館及び図書館職員の仕事を学ぶ。	12人	小学生 中高生 保護者
10月		TEPIA 先端技術館の見学とLEDを使ったカード作り。	15人	小学生 中高生 保護者
11月		赤坂氷川神社を訪問し、禰宜さんによる講話や参拝などの礼儀作法を学ぶ。	11人	小学生 中高生 保護者
3月		スターバックス 赤坂Bizタワー店に訪問し、店内見学・バリスタ体験をする。	8人	小学生 中高生

### 特別活動

実施月	活動	内容	参加人数	対象
6月	赤坂小学校PTA主催遠足	赤坂小学校PTA主催による遠足への引率参加	職員 2人	赤坂小学校児童 保護者
9月	「SWING 赤坂2016」等	小学生によるパトンの発表、中高生によるバンドの発表、保	51人	企画参加児童

		護者サークルによる フラダンスの発表		
10月	みなと区民まつり	小学生によるバトンの 発表	32人	企画参加児童と その保護者
	赤小（赤坂小学校）祭り	保護者、地域の団体が 模擬店、ゲーム店などを出 店。プラザは「ミニオン釣 り」出店で参加	多数	赤坂小学校児童 保護者
	地域合同防災訓練	赤坂消防署新町出張所の 協力ののもと、サン・サン 赤坂、地域住民との合同に よる利用者参加型訓練	44人	全児童・保護者・地 域
	いきいきプラザ 展覧会	赤坂いきいきプラザ主催 利用者展覧会への出品	30人程度	乳幼児～保護者 地域住民
5月・11月	地域懇談会	地域の町会等代表者、 施設、児童福祉関係者 との情報交換	53人	関係者

## 10 ボランティア活動

ボランティアの受入れについては、以下のような事業がある。

＜受入れ事業＞：地域から自発的な申し出があった場合、内容、希望等を確認し、港区児童館等運営マニュアルに沿って、よく検討した上で企画実施した。

＜自主企画事業＞：当館の企画実施上、必要となる講師またはアシスタントに関しては、本人の承諾を得た上でボランティアとして協力していただいた。

＜子どもによる自主的な活動＞：当館の子ども達による地域貢献ボランティア活動。

### 【企画活動】

#### ＜受け入れ事業＞

実施月	活動	内容	参加人数	受入人数
通年(2回)	講師による企画	街を歩いて、気持ちいい空間を探そう！ あたたかい家をつくろう！	26人	14人
通年(1回)	講師による企画	パパとママが子どもに伝えるための おこづかい教室 (保護者対象)	2人	1人
通年(1回)	講師による企画	HONDA『アシモ工作』	12人	4人
1回	銀行員による地域 貢献活動	都市銀行赤坂支店において銀行員の 業務を体験	28人	支店長以下、 数名
1回	お小遣い教室	フィナンシャルアドバイザーによる 保護者対象企画	2人	1人
1回	獅子舞が来た！	支所職員による伝統芸能の披露	41人	1人

<自主企画事業>

実施月	活動	内容	受入数
通年(30回)	講師による企画	茶道体験、アロマハンドマッサージ、ヘアカット講習、食育、な～んでもお聞きします、英語であそぼう、インターネット講習、琴・三味線、空手、レスリング等	87人
通年(23回)	行事や企画の手伝い	納涼祭、文化祭、新年子ども会、キッズランド、バスケットボールクラブ	91人
通年(12回)	中高生居場所事業等	よるで～も、NAN-SPO、まなびちゃん、TBP、バンドレッスン、サマーライブ	59人

<子どもによる自主的活動>

実施月	活動	内容	参加人数
7月・12月 (計3回)	子どもによるボランティア活動	地域の独居高齢者へ送る暑中見舞・年賀状づくり(みなとボランティアセンター「かんがり」への協力)、地域清掃	21人

11 食育活動

【企画活動】

実施月	活動	内容	参加人数	対象
5月 7月	栽培・調理	野菜の栽培	37人	こぐまさんグループ 親子
9月	陶芸と調理	グラタン皿作り・ グラタン調理	40人	小学生～中高生
5月 2月	自由調理	フルーツクレープ お寿司カップケーキ	18人 17人	小学生～中高生
9月	乳幼児の自由調理	白玉だんごづくり	① 30人 ② 16人	①うさぎさんグループ ②こぐまさんグループ 親子
2月	乳幼児の自由調理	マカロニきな粉づくり	① 53人 ② 32人 ③ 13人	①りすさんグループ ②うさぎさんグループ ③こぐまさんグループ 親子

※国際交流活動で「文化祭」出店、アメリカの料理作り開催

## 12 その他の活動

### (1) 第三者評価

平成28年度以降は、第三者評価については毎年ではなく、指定管理期間のうち1回受審することとなったことから、平成28年度は、受審しなかった。

### (2) 児童の意見（意見箱から）

プラザではキッズルーム、ラウンジ、アリーナ前に意見箱を設置し、広く利用者からの自由な意見を募っている。

児童からの意見としては「Wi-Fi を使えるようにしてほしい」というような主に中高生からの要望が多く、時代を反映して増加してきたニーズといえる。その他では「ラウンジにおいてあるマンガの購入リクエストについて」が多かった。マンガの購入については意見箱にあがった書籍を中心にアンケートをとり、児童の希望にそった購入・所蔵になるように努めた。

保護者からの意見には環境整備面の要望が多く、「キッズルームのおもちゃのかがこは木製では危ないと思う」「おもちゃの不具合を直してほしい」などがあつた。かごに関しては他の素材も試しながら、より安全な物の導入を検討している。また、わずかだが「乱暴な子どもがいて困っている」というものもあり、キッズルームでの見守りを強化し、保護者間でのトラブルを未然に防ぐよう努めた。

### (3) 苦情対応

利用者からの苦情の申し出について、平成28年度は4件あり、次のようなものであつた。うち3件は、利用者（特別支援学校高等部生で、同一人物）から、他の1件は、学童クラブ入会児童の保護者から区役所へ直接持ち込まれたもので、内容は以下のとおりである。

苦情に対しては、真摯に受け止め、改善すべきものは改善策を講じている。

申出者	苦情内容	対応・回答・改善点など
利用者 (高等部生)	① 当館内の男子トイレが穢く、汚れている。(6月) ② 男子トイレ個室が水浸し状態で漫画や玩具が捨て放し。(10月) ③ なんでもでは、菓子ばかり提供する。(2月)	①、② トイレに、清潔に使うよう懇諭する貼り紙を貼るとともに、職員が時々トイレを覗いてみて、点検・清掃処理するようにした。 ③ 中高生対象企画で、菓子(NAN—CAFÉ)や軽食(NAN—COOK等)を提供するものがある。申し出者は、食事の提供を要求しているものと思われる。対応としては、各企画の趣旨を理解してもらうよう説明していく。
学童クラブ入会児童(1年生)の保護者	学校で授業がある土曜日に、下校後子どもを当館で過ごさせることにしたが、弁当を持たせ忘れた。そのため、申出者が8時過ぎに当館に弁当を届けに来たところ、扉が開いていなかったため、弁当を預けられなかった。	区の「学童クラブ入会のご案内」やホームページに「土曜日は8:00から利用できる」とあるのに、クラブが開いていないのはおかしいとのご主張。子ども家庭課で対応していただいた。「利用」の意味は、児童を預けられる趣旨でなので、直後の館長会で、来年度の「学童クラブ入会のご案内」等にも趣旨が徹底するよう記載を改めることが確認された。

### (4) 広報活動

#### ① 「なんでもステーション」

毎月発行しているプラザの情報誌で、その月の行事や企画を掲載している。プラザのフロントで配布したほか、学校、保育園、幼稚園、地域の町会長・自治会長や

民生・児童委員の方等への配布も行った。(2000部、館内配布は約200部)  
英語版(表紙、乳幼児、小学生、保護者版)も毎月作成し、フロントで配布している。

② ホームページ

独自のホームページにより、随時、広報活動を行った。ホームページには、施設の概要や「なんで〜もステーション」、台風時の対応等の最新情報、サークルや「なんで〜も委員会」の活動報告などを載せており、幅広い対象にプラザを紹介し、PRした。

③ 『元気です』

社会福祉法人東京聖労院の広報誌。年4回の発行で、赤坂プラザで行われた行事の報告、行事の予定を掲載した。

(5) おもちゃの病院

毎月1回、専門のドクター(おもちゃ修理の先生)が、壊れたり、動かなくなったりした利用者のおもちゃを修理し、再利用を図った。

実施月	活動	内容	利用人数
通年(12回)	おもちゃの修理、再生	修理の技術を持った先生達が、破損したり、動かなくなったおもちゃを診察し、治療し、機能を再生する	74人

(6) アンケート

企画によっては、利用者にアンケートを取り、事業に取り入れるようにした。

企画名	アンケート内容	回答例
アリーナシアター	上映してほしい映画	ドラえもん、コナン、ポケモン 他
ラウンジ	新規購入本・マンガ ボードゲーム	あひるの空・ちはやふる・人生ゲーム 他

(7) 学校等との連携

- ① 地域の公立小中学校とは、学童クラブ入会児童に関して、あるいは必要に応じて、先生方と日常的に情報交換を行い、連携を図っている。
- ② 赤坂小学校とは、ア 赤小まつりにおいて「ゲーム店」を出店 イ 赤小PTA自然体験部が実施する野外活動の支援要員として職員2名を派遣 ウ 新入生オリエンテーションに、なんで〜もを紹介するため職員を派遣 等のほか、エ 館長が、学校評議員として学校運営に参画している。
- ③ 「サン・サンなんで〜も地域懇談会」に、地域の町会・自治会長、行政機関、青少年健全育成団体の関係者や幼稚園、小中学校、保育園等の教育機関等の長を招き、ご意見を聴取し、児童の館での活動(演技披露を含む)も紹介している。
- ④ 館長や職員が、学校の体育祭、文化祭、公開授業等に伺い、学校での子ども様子を参観し、日頃のコミュニケーションや児童の理解に役立てている。

## Ⅲ 赤坂子ども中高生プラザ学童クラブ（放課後児童健全育成事業）

### 1 学童クラブ事業

#### (1) 運営方針

赤坂子ども中高生プラザの事業の一つとして、学童クラブ事業（放課後児童健全育成事業）を行っている。安全・安心な生活の場であるとともに、健全育成の場として、プラザ内に専用の部屋と担当の職員を配置し、運営を行った。

#### (2) 子どもとの関わり

子どもたちが、安心して、のびのびと生活し、活動ができるように配慮した。健やかに育つ環境をつくるため、くつろげるスペースを設置したりし、宿題など学習への声かけをするなど、子どもたちが生活のリズムを作り、自立心が育つよう、支援に努めた。学童担当職員が児童との結びつきや信頼関係を深めるように交流を図った。

子ども同士の関係についても、お互いが楽しく、気持ちよく過ごせるよう、トラブルについても細かく対応するよう努めた。

特別な支援が必要な子ども（被虐待児童を含む。）についても、集団の中で安心して過ごせるよう、必要に応じて（マン・ツー・マンで）サポートするなど配慮した。

また、夏・冬・春の外出や、学童クラブ独自の行事などを設ける他、今年度は「壁面装飾づくり」の活動もとり入れ、子どもたちが、学童クラブに対してより親しみが持てるように工夫した。

高学年が学童クラブ対象となって2年目を迎えたが、高学年の利用が増えたことも考慮し、どの学年も居心地良く過ごせるよう高学年児童の発達にあわせた関わりを持つように配慮した。

#### (3) 家庭との連絡と相談活動

毎日の「連絡帳」や年3回の保護者会、個人面談等を通して、日々の子どもの様子を伝え、よりよい運営を行うために、保護者と情報交換した。高学年児童を受け入れることとなってから2年目となったことを踏まえ、高学年の学童クラブルールを決める際に保護者とも意見交換をした。その他、保護者からの相談に対して、問題解決に取り組み、配慮が必要な家庭についても、保護者と連携して柔軟に対応した。

また、秋と春の親子ふれあいイベントでは、普段と違った親子の交流が図れた。特に、秋のイベントでは、初めて父親3名が実行委員となって、実行委員が企画から当日の進行までを中心となって行ってくれた。調理については、母親たちに声をかけ、「調理部門実行委員」を立ち上げ、多くの保護者にイベントに関わってもらうことができた。懇談会では、保護者と職員が和やかに交流を深められた。

その他の親子行事では、7月にはプラザ行事の納涼祭において学童クラブから「たこせん屋」を出店した。11月には「日曜スペシャル」として、親子で「フットサルとホットドックでランチ」を行った。

## 2 日常活動の報告

概ね下記日課表に従った規則的正しい学童クラブ運営を行った。

### (1) 日課表

【学校がある日の例】

13:30~	来室 宿題 あそび
15:00	おやつ開始
16:00	おやつ終了
17:00	帰宅開始 （「送り」2回）
19:00	退室

【学校休業日などの例】

8:00~	来室 勉強タイム あそび
12:00	昼食の準備、 お弁当 片付け・休憩
13:00	あそび
15:00	おやつ開始
16:00	おやつ終了
17:00	帰宅開始 （「送り」2回）
19:00	退室

### (2) おやつ提供

保護者から毎月預かるおやつ代を使い、毎日午後3時から4時30分の間におやつを提供した。栄養面・安全面に配慮し、子どもたちが適切なエネルギー補給ができるよう工夫した。アレルギーのある子どもに対しても、保護者に状況を確認した上で、別のメニューを用意するなど、個別のきめ細かい対応をとった。

また、毎週水曜日に、プラザに併設されている高齢者施設の厨房で、手作りのおやつ（おにぎり・からあげ・焼きそばなど）を調理してもらい、子どもたちに提供した。

さらに、月1回のお誕生会の日には、（子どもたちのリクエストに応え、アニメのキャラクター等をデコレートしている）バースデーケーキを提供した。メニューは、高齢者施設の栄養士や厨房の担当職員と話し合いながら毎月献立を決め、栄養面や子どもの嗜好を考慮して調理し、子どもに喜ばれた。これらのメニューは、保護者向けの学童クラブのお便り（「スター通信」）に毎月掲載した。

おやつメニューに関しては保護者からも「おやつ代の中からよくやりくりしてくれている」との話を多くいただき、手作りおやつの写真を保護者会で紹介すると歓声上がる等、保護者・子どもたちからも好評である。

### (3) 安全の確保

保護者の協力を得ながら、出欠の把握を徹底するとともに、子どもたちに対しても安全確保の意識が高まるよう、日常的に指導をした。

5月上旬までは、学童クラブ担当職員が新一年生を対象に赤坂小学校への「迎え」、自宅付近までの「送り」を実施し、これらを通じて、集団下校について指導した。

また、学童クラブに在籍する児童の居住地域が広範囲に及ぶため、児童の帰宅時の安全を図れるよう、年間を通じて、「5時帰り」、「5時45分帰り」の2つのグループに分け、職員が赤坂小学校まで送った。さらに、冬期（10月中旬～2月中旬）については日暮れが早いことから、赤坂小学校の先（乃木坂駅付近・カンボジア大使館付近）まで、距離を延長して「送り」を行った。

## (4) 家庭や学校等との連携

### ① 家庭との連絡等

連絡帳や個人面談を通してそれぞれの児童の様子を伝え合い、保護者との信頼、協力関係を築いて、個々の状況や問題に関して、ともに考え対応した。また、保護者会や親子行事も開催し、同じ環境で子育てをしている保護者同士が交流し合える場を設けるとともに、職員と保護者が協力して子どもを育てるという視点から、一緒に児童の成長を見守っていく対応を基本にして運営した。

毎月発行のお便り「スター通信」により、児童の学童クラブの様子を伝え、面談等に参加されない保護者とも相互理解が図られるよう、情報発信に努めた。

### ② 学校等との連携

お便りの交換や、様々な連絡・情報交換を通して、学校や放課GO→との協力関係を築いた。また学童クラブの児童が個々に抱えている問題に関しては、学校と情報を交換を行い、速やかに解決を図っていけるようにした。

また、災害や不審者などの緊急事態が起きたときの下校については、学校と密接に連携し、安全に対応できるよう体制を整備した。

## (5) 子どもの様子

登録児童は28年度末時点で108名、日常的には平均58名前後の来室があった。学童クラブルームは、勉強をしたり、おやつを食べたりするほか、生活の拠点となる場所として、学年を超えた児童の集団が多く遊びを楽しんでいた。

昨年度に引き続き、第1学童クラブルームを低学年、第2学童クラブルームを高学年が使用することとした。高学年の居場所づくりへの配慮から、第2学童クラブルームは低学年の入室は不可としたが、第1学童クラブルームやプラザ内では、今までどおり学年を超えて交流する姿がみられた。第2学童クラブルームでは自分や友人の部屋のようにくつろぐ姿がみられた。第1学童・第2学童クラブルームとも、室内には畳やゴザをひいたスペースなどをつくり、ゆっくりとくつろげるように配慮した。

低学年ではグループ活動として縦割り班を作り、各児童の座席を縦割り班になるよう指定し、自然な異学年交流を促した。高学年も手作りランチパーティーや外出の際には、少人数ずつ各班に分かれて入ってもらい、高学年として低学年をサポートする役割を果たしてもらった。

毎月のお誕生会のゲームでは、縦割り班を積極的に活用し、人数が多い中で、年上・年下の子ども同士の交流が増え、学年を超えた縦のつながりが深まった。当館の学童クラブには、児童施設(プラザ)が併設されているので、クラブルーム内だけではなく、プラザ全体が遊び場となり、工作やスポーツ、パソコンなどの活動も各々自由に行っていた。

今年度初めての試みとして、サン・サン赤坂の厨房とデイサービスと連携し、「交流ランチ」を行った。内容としては、夏休みの手作りおやつをお昼ご飯に変更し、デイサービス利用者と一緒に昼食を食べる活動で、デイサービスでの児童の受け入れ人数は10名ほどと限られていたが、毎回「行きたい！」と元気よく手を上げる子が多かった。児童の祖父の友人とたまたま隣り合わせたり、お互い名前を覚え日常でも交流が深まるなど、児童にとっても良い経験となった。

このほか、毎月実施されたプラザの行事や各部屋の活動にも、学童クラブの児童が、それぞれの興味に応じて参加した。



### 3 学童クラブ年間行事・活動報告

月	行事	内容	人数
4	「なんで～もツアー」	新1年生が各部屋を回り、職員から使い方・ルールなどの説明を受けた。	29人(1年生)
	「みんなであそぼう」	友達作りのきっかけになる集団ゲームや記念品に入れる手形カードの作成を行った。	69人(低学年)
	誕生会	「イントロクイズ」を行った。	55人(低学年)
5	誕生会	「ラスベガスゲーム」を行った。	60人(低学年)
6	個人面談(1年生)	保護者と、児童についての情報を共有した。	31人
	誕生会	「連想ゲーム」を行った。	59人(低学年)
7	誕生会	「動物を探そうゲーム」を行った。	53人(低学年)
	第1回保護者会	自己紹介を兼ねて、懇談を行った。会計監査委員、親子ふれあいイベントの実行委員を選出した。子どもの様子を伝え、夏休みの過ごし方について話し合った。	28人 (保護者)
	納涼祭出店	納涼祭に親子で「たこせんべい屋さん」を出店した。	62人
8	誕生会	「イントロゲーム」を行った。	51人(低学年)
	「手作りランチ」パーティー	みんなで協力し、自分たちの昼食(サンドイッチ、おにぎりと味噌汁、タコライス、流しソーメンの4回)を作った。	延べ 235人
	夏外出	墨田区の「すみだ健康スポーツセンター」に出かけ、プールで楽しんだ。	48人
9	誕生会	「連想ゲーム」を行った。	65人(低学年)
	第2回保護者会	学童クラブでの児童の様子の紹介、日曜スペシャルの説明、冬季送りについて話し合いを行う。	20人 (保護者)
	秋の親子ふれあいイベント	親子でゲーム大会やハンバーガー作り、DVD鑑賞を行いアリーナに宿泊した。保護者との懇親会も行った。	185人
10	誕生会	「瞬間メモリーゲーム」を行った。	52人(低学年)
	個人面談(2・3年生)	保護者と、児童についての情報を共有した。(希望者のみ。「心配事は無い」と希望しない保護者が多かった)	9人
11	誕生会	「だまし絵クイズ」を行った。	61人(低学年)
12	日曜スペシャル フットしてホット	親子でフットサルをし、ホットドックを食べた。	21人
	誕生会	「順番あてクイズ」を行った。	65人(低学年)
	クリーンプロジェクト& 年越しパーティー	クラブルームを大掃除し、お昼に「年越しそば」を食べた。おやつにパフェを作り、簡単なゲームも行った。	50人
	学童クラブ冬外出	「墨田区本所防災館」および「墨田区すみだ水族館」に出かけた。	50人
1	誕生会	「知識のかけらを集めようゲーム」を行った。	58人(低学年)
	装飾活動	みんなで壁面を作った。	61人
2	誕生会	「順番あてゲーム」を行った。	65人(低学年)
	装飾活動	みんなで壁面を作った。	57人
3	誕生会	「ステレオゲーム」を行った。	41人(低学年)
	第3回保護者会&親子 ふれあいイベント	サンドイッチ作りを親子で行い、懇談をした。また、会計報告と行事報告をし、1年間の子どもの様子をスライドショーで上映し振りかえった。	49人
	学童クラブお別れ遠足	雨天コース「エプソン品川アクアパーク」へ出かけた。	55人
	進級お祝いパーティー	DVD鑑賞をし、昼食はピザおやつにケーキを食べた。また、3年生の写真スライドショーを見て低学年の修了を祝い、第2学童への送り出しセレモニーを行った。	46人

## Ⅳ 平成28年度の事業を振り返って

### 1 プラザの運営

平成28年度も、「更に、賑わい溢れるプラザを目指す」ことを事業運営の基本に据え、運営を行なった。

「賑わい」の判断にあたり、具体的な指標となるものが、来館・利用者数である。

来館者数に関しては、「3%増」を館の目標に設定し、職員に周知するとともに、毎月の来館者数や対前年同月比を記載した資料を職員回覧することなどにより、周知した。

平成28年度の利用者数は、対前年度比6.8%増という結果となり、目標を上回って達成した。

内訳は、幼児（106.8%）、保護者（110.0%）、中学生（121.9%）と来館数が順調に増加したものの、小学生（100.4%）、高校生（101.4%）の来館はやや伸び悩んだ。

この要因としては、

- (1) 中学生は、平成28年度に、港区の「子どもの未来応援施策」に沿って各種の中高生の居場所づくり及び学習支援活動を実施したが、その効果が表れたこと。
- (2) 高校生は、特に年度後半に、バンドの利用者が減少したこと。ただ、その原因は、はっきりしない。
- (3) 小学生は、2年生が対前年度比2倍以上の増加したものの、3年生以上は、減少した。やはり、この原因も、定かではない。

いずれにせよ、プラザでは、多彩なプログラムを用意し、飽きのこない事業運営を行ってきた。

平成28年度は、新規企画として、乳幼児・保護者対象企画であるヘア・カットレッスン、ホット・スモージー教室、小学生対象企画では、サン・サン赤坂デイサービス利用者の「デイ運動会」参加、全年齢層対象企画では、ラウンジ企画として、「おはなし宝石箱（読み聞かせ）」、「ラウンジハロウィン（ハロウィンに因んだゲーム遊び）」、「プラザニア（お店屋さんごっこ）」、企業の地域貢献活動の提案に依る「銀行員体験」、中高生居場所づくり事業である「NAN—CAFE、NAN—COOK、TBP（Teenager's Birthday Party）、NAN—SPO（SPORTS）」「学び舎・まなびちゃん」など、多くの新規企画を実施し、好評を得た。

平成29年度は、利用者全体の2割強を占める「小学生」を重点対象と捉え、小学生の意向・希望に沿った企画・事業を実施することを重点に事業展開していくこととしている。

### 2 学童クラブの運営

平成28年度も児童・保護者とも信頼関係を築き、安全・安心に過ごせる児童の居場所づくりという基本を重視し、円滑な運営を目標とした。

平成28年度は、利用定員が88名から120名に増員されることとなった。

利用状況は、定員120人に対し、年度当初の入会者は、110名（1年生：33名、2年生：28名、3年生：18名、4年生：20名、5年生：10名、6年生：1名）、途中入会：11名、途中退会12名で、年度末在籍者109名、最大在籍児童数は113名であった。近隣の赤坂小学校以外の学校（インターナショナル・スクールや国・私立小学校など）に通う児童が多く、あわせて15名在籍したが、他のクラブと比較しても多い人数と言える。

そのため各学校の休業日等の予定にあわせ、職員体制等を細かく調整・配慮した。

また、前掲（Ⅲ）の「壁面装飾づくり」「交流ランチ」など、新たな活動も行った。

運営面では、児童の安全・安心な児童の居場所として、1年を通じて、円滑・順調に運営することができた。

今後も保護者と連携しながら、児童にとって心地よく安心できる居場所であるよう努めていきたい。

### 3 事業・企画の運営体制

平成28年度からは、「対象児童の年齢層」別にグループ制を敷き、職員がプラザの「キッズ（＝乳幼児）」、「小学生」、「中高生」担当、それに「学童クラブ」のいずれかのグループに属するように配置した。一方で、「学童クラブ」を除き、担当者が前年度に引き続き、各グループの日常業務に参加する「相互乗り入れ」方式も維持した。その結果、殆どの職員が児童館業務のどの年齢層にも抵抗感や苦手意識を持たずに対応できるようになってきている。

### 4 館内外で発生した事故

平成28年度は、「児童館内での身体的な事故」が10件あった。また、「館外での身体的な事故」は、2件あった。

「館外での身体的な事故」2件は、いずれも学童クラブ所属の小学生が、帰宅途中に躓いて転び、上前歯を道路に打ちつけ（1件目）、或いは額を道路に打ちつけた（2件目）ものである。いずれも1回～数回の通院で治療が終わり、大事には至らなかった。

「館内の身体的事故」のうち、骨折に至る事故は2件あった。

1件目は、当館アリーナで遊戯中の小学5年男児が、アリーナの遊戯領域を区分しているネットフェンスに足を取られて転倒し、肘を床面に打ちつけた際、上腕骨2本を骨折したものである。事故発生が土曜午後だったため、整骨院を経由して大病院に運ばれ、骨のボルト止め、（後日）取り外しの手術を受け、2回入院した。

2件目は、当館アリーナで遊戯中の小学3年男児が、走っている途中、足を捻って踵の骨を剥離骨折したものである。

受傷者へは、保険や区の見舞金制度についても説明しご案内するなど適切に対応したこともあり、苦情は生じなかった。

このほか、館内（エントランスホールの自動ドア）で小学生女児が手指を切創し、及び高専生男児がアリーナで小学生と遊戯中に転んで顎の下を裂創し、縫合処置を受けるに至る怪我が各1件あった。両方とも入院には至らなかった。

他の館内発生事故としては、アリーナでのスポーツ中の打撲、捻挫、突き指等の軽傷事故（6件）があった。

いずれも咄嗟の出来事で、職員が近くにいたが、防ぎきれなかった。

発生後は、職員がすぐ保護者に電話連絡して経緯説明と謝罪をし、当該児童を近隣の医院に連れて行き付き添うなどしたうえで、保護者に引き渡した。

これらの事故に対しては、総合支所とも連携をとり、保護者に対し事故当時の状況や館としての対応、保険や見舞金制度等を丁寧に説明するなどの対応を行ったこともあり、苦情には至らなかった。

今後は、引き続き児童に対する見守りを更に強化し、可能な限り事故防止に努めるとともに、事故の未然防止に向け必要な対策を講じるなど、より一層安全・安心に過ごせるプラザを目指していきたい。